

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



梅雨明けと同時に始まった暑さ。その勢いは止まるところを知らず連日の猛暑。皆さん、如何お過ごしでしょうか？

睡眠不足や食欲不振、室内外の気温差に体調がついていけず早々と夏バテ状態に陥った方も多いのではないでしょうか。私もその内の一人です。



さて、夏休みが始まったというのに、この暑さのせいか、外で遊ぶ子供たちの元気な声が聞かれるのは何だか寂しい気がしますが、こう暑くては、熱中症の心配が大きいため、仕方ないことかもしれませんね。

この季節は、どうしても水に関する哀しい事故が多く発生しますが、せっかくの夏休み。ご家族お揃いで楽しい思い出がたくさん残りますようにと願っています。静かに読書を楽しんだり、好きな音楽に耳を傾けたりして、ゆっくりと休養を取ることも大事なことです。お元気で各々有意義な時間をお過ごしくださいね！



大切な家づくりの流れ

6. 内装及び電気・設備機器取り付け工事

【内装工事】

建物内部の壁面、天井板張り、壁紙・クロス貼り、畳工事、フローリング張りなどの床面仕上げ工事、そして造作家具や建具工事を指します。

「内装を一新する」というように、明るくて居心地の良い空間を作るために、お施主様の关心も高い工事です。



【電気・設備機器取り付け工事】

エアコンなどの空調、給排水や衛生設備に関わる上下水道、キッチン、浴槽、トイレ、そして年々複雑かつ重要になってくる電気配線や様々な電子機器・電化製品・照明器具の設置など毎日生活する上で必要な設備全般の工事です。

便利で快適な生活環境を創造するための根源となるものですから、安全で使い心地の良い工事が求められます。

また、お施主様の個性が表現できる部分ですのでじっくりお考えくださいね。



「帰郷と帰省」

帰郷・帰省共に故郷に帰ることを意味し、今日ではほぼ同義に用いられます。

ただし、帰省の「省」には「省みる、よく見る」という意味があるように、元々は、帰省とは親元を離れ身を立てている子供が、故郷に帰って両親の安否を確かめる挨拶であり、加えて先祖のお墓に出向き、供養することでした。

それが近代に入り、親元を離れて生活する人が増えるにつれ、徐々にただ故郷に帰るという意味になったようです。

また、都市圏で働き、暮らす子供の家族が、年末年始やゴールデンウィーク・お盆などに一斉に地方の故郷に帰ることにより、交通機関や高速道路の渋滞などが起こることを【帰省ラッシュ】と言いますが、この言葉が生まれたのは高度成長期のことでした。



皆さんも故郷で暮らすご両親に元気な顔を見せに行ってくださいね！

プラスアルファ



突然ですが、皆さんの「趣味」は何ですか？

私が、時々お客様とお話しさせていただく中では、やはり多いのがゴルフ。

まあゴルフの場合は仕事半分という方も多いのでしょうか、野球やサッカー等のスポーツ観戦、スキーや、ドライブ、映画鑑賞、囲碁やカラオケ、ダンス、等など・・・そして意外と多いのが山登りというお答えです。

私は、本格的な山登りの経験が無いため、山の話になった時、「どうして山に登るのがお好きなのですか？」と、ついお尋ねしてしまいます。

様々な答えがありますが、ひと言で言ってしまうと、「登り切った時の爽快感がたまらない」ということのようです。

足場の悪い深い茂みの中を、重い荷物を背負い、歩き続けて頂上に到達した時、目の前に広がる雄大な景色を思い浮かべながら、さぞ気持ちが良いだろうなあと爽やかな気分が想像できます。

山好きの人には良い人が多い、という言葉を以前どこかで聞いたことがあるような気がしますが、これにはそれなりの理由があるのではないかと思います。

良い気分を味わうために、ゴツゴツした山道を、わざわざ何時間もかけ黙々と登り続けるというのは、何か自分の「今」を犠牲にしようという気持ちがきっとあるはずというものです。

山登りに限らず、これは趣味を持つ人全般に当てはまるのでしょうか。



経済上のリターンがあるわけでもなく、リスクを冒しながらも取りつかれたように熱中するというのは、成し遂げた時の達成感がなければできないことです。

経済上のリターンだけに目を奪われてしまうと、私たちは何の面白みもない人間になってしまいます。そうしたリターンから距離を置いたところが、趣味の

世界だと思います。

どんなに忙しくても、仕事だけが生きがいの仕事人間にならず、何でも良いから趣味を持つべきだといわれるのも、今の何かを犠牲にできる人となりを備えようとするものと思えばよいのかもしれませんね。

事業を起こしたり、既存のやり方に逆らって何か新しいことを始めようとする時、リターンは約束されないばかりかリスクだけが目立ってしまいます。

それでも世の中には、そこに飛び込んでいくいわゆる起業家精神の旺盛な人がいます。

もちろんリスクを克服でき、その上でリターンを得るという裏付けや、計算の上で挑戦するのでしょうか、それでも実際に行動を起こすには勇気が必要です。

リスクとリターンのバランスが取れていないという点では、ある意味常識的には聰明な判断とは言えないかもしれません、それでも私たちにはそういう人には「がんばれ！」と応援したくなるような気持ちにさせられます。リターン無きリスクを取れる人は良い人だと共感を呼びます。

逆に、リスク無くしてリターンを得ようとする人には不快感を覚えるかもしれませんね。

でも最近の風潮だとそうでもないのかも・・・？

「編集後記」

「暑いですね！」会う人ごとに交わす挨拶はこればかり。

日本中が猛暑に包まれた今夏。

いくら水分を補給しても、すぐ後から汗に変わり、身体に届かないのでは？と思ってしまいます。

気のせいか救急車のサイレンの音も多く聞かれ、熱中症はじめ体調不良の方が多いのかしらと気になります。

早くも涼しい秋風が恋しいこの頃ですが、どうぞお元気でお過ごしください。

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報ください。



編集責任者

渡辺 田鶴子